

件 名	子ども食堂モデル事業の実施について
経過・現状 政策課題	<p>【経過・現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の「子供の貧困対策に関する大綱」(H26.8閣議決定)において、貧困の連鎖を断ち切るため、子供たちの成育環境の整備等の推進が何よりも重要と指摘。 ・首都圏を中心に、地域・民間団体等による「子ども食堂」が拡大。食事をきっかけとして、必要な支援につなげていく取組として注目されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市内でも、家庭的な環境の中で食事をとる機会の少ない「孤食」の問題に対応した新たな取組が求められている。
対応方針 今後の取組 (案)	<p>【対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な環境の中で食事をする機会の少ない子ども等に対して、食事と居場所を提供する「子ども食堂」をモデル的に開催。 ・モデル開催する「子ども食堂」において、利用者ニーズ、運営課題、行政支援のあり方等に関する調査を実施し、次年度以降の事業展開を検討。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「子ども食堂」のモデル開催 <ul style="list-style-type: none"> ・複数か所(3か所以上)を確保し、7月以降、年間9回以上開催する。 ・フードバンクや民間企業等からの提供食材も一部活用し、低価格でバランスの取れた食事を提供する。 ・食事代は、子どもは無料、保護者は実費分を徴収する。 ・食事の提供以外に生活相談、学習支援等を実施する。 ○調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート、運営者ヒアリング等によるニーズ及び課題等の把握。 ・本市内の地域資源の把握、他市事例等の調査。 ○予算額 5,000千円 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4~5月：事業者募集 6月：契約 7~3月：9回以上開催 <p>※モデル事業の状況を踏まえて次年度以降の事業展開を検討。</p>
効果の想定	利用ニーズや運営課題を把握し、次年度以降の事業スキームを構築
関係局との 政策連携	健康福祉局、教育委員会事務局

子ども食堂モデル事業

事業概要

- 家庭的な環境の中で食事をする機会の少ない子ども等に対して、食事と居場所を提供する「子ども食堂」をモデル的に開催。
- モデル開催する「子ども食堂」をフィールドとして、利用者ニーズ、運営課題、行政支援のあり方等に関する調査を実施し、次年度以降の事業展開の検討を行う。

開催場所・スケジュール

※事業の詳細は事業者からの提案を踏まえて決定する

- ・市内3か所以上の施設で開催（要件：異なる行政区、食品衛生法の営業許可、食品衛生責任者配置等）
- ・7月以降、計9回以上の開催を予定



食事提供

- ・栄養バランスや食品アレルギーに配慮した食事を提供
- ・フードバンク等の提供食材を活用して、低コストで実施
- ・子どもは無料、保護者は実費相当分

生活相談

- ・利用者の相談ニーズを把握し、適切なアドバイスや情報提供
- ・必要に応じて関係機関に繋げる
- ・福祉・教育分野の知識・経験を有する者を配置

その他

- ・宿題等の自主学習をサポート
 - ・体験活動の機会を提供
- …etc

調査研究

- ・利用者や実施施設へのヒアリング等を行い、利用ニーズや運営課題等を調査
- ・地域資源（子ども食堂を実施可能な施設・団体の状況）、他市事例等を調査



次年度以降の本格実施のスキーム検討

【平成28年度】

事業全体のコーディネート、食堂開催、調査報告までをパッケージで業務委託（公募プロポ：予算500万円）

【平成29年度～】

モデル事業の結果を踏まえて事業展開を検討